

口頭発表


1	超容量の有機正極材料の開発	岡山理科大学 理学部	教授	東村 秀之
2	UAV自律飛行による建築物外壁の自動点検システム	岡山理科大学 工学部	教授	クルモフ バレリー
3	熱電素子を用いたエンジン排熱発電システムの開発	岡山理科大学 工学部	准教授	近藤 千尋
4	野生酵母の探索と醸造への応用	岡山理科大学 ワイン発酵科学センター	教授	金子 明裕
5	高血圧症の新たな治療標的因子	岡山理科大学 獣医学部	講師	向田 昌司
6	スキーが地域経済を動かす —スノーリゾートの来場者と消費行動の分析—	岡山理科大学 経営学部	准教授	高橋 良平

技術相談

皆様の技術相談に産学連携コーディネータがお応えします。

(産学連携コーディネータ: 桑本 誠、佐藤 純一、吉田 与志一)

◎事前予約も可能です。お気軽にお問合せください。【電話】086-256-9730 【E-mail】renkei@ous.ac.jp

お申し込み方法	必須事項①～⑦をご記入のうえ、下記のいずれかの方法でお申し込みください。	
	1.インターネット	岡山理科大学 研究・社会連携部HPのOUSフォーラム2025 https://renkei.office.ous.ac.jp/forum からお申し込みください。
	2.E-mail	renkei@ous.ac.jp 件名に「OUSフォーラム申込み」とご明記のうえ、お申し込みください。 QRコードはこちら▶ 
お申し込み者	3.FAX	086-256-9732
	①会社団体名	
	②氏名	ふりがな
	③住所	
	④電話	
	⑤FAX	
	⑥E-mail	
⑦交流会参加の有無	参加 ・ 不参加 <input type="radio"/> で囲んでください。	

お問合せ

岡山理科大学 研究・社会連携部OUSフォーラム係

TEL:086-256-9731 FAX:086-256-9732

【E-mail】renkei@ous.ac.jp

【URL】<https://renkei.office.ous.ac.jp>

●技術相談: 研究・社会連携部ホームページの「技術相談」をご参照ください。
<https://renkei.office.ous.ac.jp/tech-2>



主催: 岡山理科大学

共催: 倉敷芸術科学大学、千葉科学大学

後援: (国研) 科学技術振興機構、中国経済産業局、岡山県、岡山県教育委員会、(公財) 岡山県産業振興財団、岡山県市長会、岡山県町村会、岡山市、岡山市教育委員会、倉敷市、玉野市、岡山県経済団体連絡協議会、(一社) 岡山県商工会議所連合会、岡山県商工会連合会、岡山県経営者協会、(一社) 岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、(一社) システムエンジニアリング岡山、(一社) 中国地域ニュービジネス協議会、(一社) 岡山県発明協会、(公社) 山陽技術振興会、おかやま信用金庫、国土交通省中国地方整備局、岡山県工業技術センター、岡山リサーチパークインキュベーションセンター、(株) トマト銀行、岡山県医用工学研究会、岡山県中小企業家同友会、山陽新聞社

岡山理科大学

第25回

OUSフォーラム 2025

— 基礎から応用・未来技術への出会いと対話 —

日時

2025年11月21日(金) 13:00~18:30

会場

岡山コンベンションセンター 1階イベントホール

〒700-0024 岡山市北区駅元町14番1号 TEL 086-214-1000

※駐車場の無料サービスはございません。
お車で越しの際は近隣の有料駐車場をご利用
いただくか、公共交通機関をご利用ください。

参加費

無料

参加申込み方法

本冊子裏面参照 (事前登録にご協力ください)

受付開始

12:30

OUSフォーラム 第25回 特別記念講演 「デザインは公共のために」

- 学長挨拶 13:00~13:10
- 特別記念講演 13:10~14:00



白鳥真太郎 撮影

ドーンデザイン研究所

代表取締役 水戸岡 鋭治(みとおか えいじ) 様

デザイナー

1947年岡山県出身。1972年ドーンデザイン研究所を設立。建築・鉄道車両・グラフィック・プロダクトなどさまざまなジャンルのデザインを行う。なかでもJR九州の駅舎、車両のデザインは、鉄道ファンの枠を越え広く注目を集め、プルネル賞、毎日デザイン賞、菊池寛賞を受賞。主なデザイン作品に、JR九州の新幹線、フルストレイン「ななつ星in九州」、岡山電気軌道の超低床式路面電車「MOMO」、和歌山電鐵「たま電車ミュージアム号」、博多駅ビル「JR博多シティ」、大阪駅「大阪ステーションシティ」、東急「ザ・ロイヤルエクスプレス」、東京都豊島区「IKEBUS」などがある。都電リニューアルプロジェクト、JR北海道の観光列車が現在進行中。吉備津神社再建600年祭(2025)をアシスト。

講演要旨:

イラスト制作から始まり、電車、バス、船などの公共の乗り物、レストラン、ホテル、公園などの設計デザイン、家具、グラフィック、テキスタイル、ユニフォームなどを画像とともにご紹介。常に、「オンリーワン」であるとともに「笑顔が生まれる最高の舞台」を作りたいという思いをお話しします。

OUSフォーラム 特別講演 産学官金連携事例紹介

- 岡山理科大学 研究・社会連携機構 機構長挨拶 14:10~14:15
- 特別講演 14:15~15:00

「赤磐発! 日本酒の現状と活路」~日本酒は絶滅危惧酒?~



室町酒造株式会社

代表取締役社長 花房 満(はなふさ みつる) 様

1955年12月生まれ (3人兄弟の末っ子) 岡山県勝田郡勝央町出身
1978年 3月 大学卒業後 林業品(現Eパルス)に入社
1983年 6月 林業品退社
1983年 7月 室町酒造へ入社
1986年12月 専務取締役に就任
1992年12月 代表取締役社長に就任(36歳)
2000年 今まで続けていた大手蔵への未納税移出を廃止
全て自社ブランドの商品に特化
モンドセレクション初出品でいきなりグランプリ受賞(3アイテム)
2004年 5月 リキュール類製造免許取得(2004.5.26) 酒類の多様化に対応
2005年 9月 リキュール(梅酒・白桃酒)台湾輸出開始
2005年 B.T.I(北米で最大の酒類コンテスト)初出品で日本酒部門第一位受賞
2006年 7月 アメリカ・イタリア輸出開始
現在に至る

講演要旨:

主要目次(一部変更となる可能性があります)

自己紹介

第1章 「室町酒造」について

第2章 日本酒の現状...日本酒は絶滅危惧酒?

第3章 低迷からの脱却 海外輸出に活路

海外輸出の状況は

第4章 差別化を図る

差別化その1...製品特性・個性のある商品

差別化その2...ラグジュアリーな商品

差別化その3...閉じたマーケティング

差別化その4...安心・安全な製品造り

第5章 海外への積極的な訪問

第6章 余談話

第7章 課題

- ポスター発表(119件)/口頭発表(6件) 15:10~16:50

- 交流会 産学官金連携奨励賞の発表と表彰 17:30~18:30

【交流会会場: ANAクラウンプラザホテル岡山19階「宙」】